

(様式3)

事業所名 グループホーム親孝の里

## 目標達成計画

作成日: 平成30年4月5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み ・運営に関する状況報告に留まっている。 ・参加者全員から幅広く意見吸収できていない。	・事故防止対策や他の施設の取り組み状況等を幅広く意見吸収する。 ・より充実した会議にすることで、一層のサービス向上に活かしていく。	・毎月開催の職員会議を活用し、施設の課題やテーマ等を設定する。 ・上記の課題やテーマ等を示すことで、全員が意見を出しやすい環境にする。	6ヶ月
2	5	○市町村との連携 ・町当局との協力関係が十分できていない。	・地域密着型施設として、行政のバックアップを得ながら、他施設との交流を活発化させる。 ・情報交換を通して、お互いの施設の質を高める。	・町当局へ、町内の施設間交流の場の設定を働きかけしていく。 ・平成30年度に1回以上の他グループホームとの交流を実施する。	12ヶ月
3	33	○災害対策 ・地域住民との災害時の協力体制が不十分。 ・行政への働きかけが弱い	・地域自治体等との災害協力体制の確立。 ・自治会等との災害協定の締結を目指す。	・行政と連携して、避難訓練への地域住民の参加協力を促す。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。